藤木工務店 ZEB 化事業への取り組みについて

当社は SDGs への取り組みを進めております。SDGs 達成に向けた取り組みの一つとして「環境に やさしい建物づくりへのチャレンジ」を目標に掲げ、ZEB・ZEH-M の推進を実施しております。

現在、取り組みの一環として倉敷支店社屋(竣工 1991 年)を ZEB 化する事業を行っております。 既存建物・設備を活かしながら、快適な室内環境の確保、省エネルギー化を図る取り組みについてお知 らせいたします。

【倉敷支店社屋 ZEB 化事業への取り組み】

築約30年の社屋の改修ZEB化を実現する為に、パッシブ面では、屋上に面する屋根(天井内)の断熱を行い建物外皮の断熱性能を向上させるほか、自然採光ブラインドを導入し外光を積極的に取り込み照明を明るさ検知にて制御します。アクティブ面では、高効率照明・空調・換気設備及び超高効率変圧器を導入し消費エネルギーの低減を図ります。

照明器具について、執務空間は明るさ検知センサーにより制御し、水廻り空間は人感センサーにより制御することにより無駄なエネルギーの消費を低減します。その他、BEMSを導入することにより、エネルギー消費実態を把握・評価し運用面での消費エネルギー削減を図ります。

上記計画により 50%以上の省エネを達成する ZEB ランク「ZEB Ready」を実現します。今回の事業は「令和3年度 ネット・ゼロ・エネルギー・ビル実証事業」の採択を受け、令和4年1月に完了予定です。

【倉敷支店社屋 ZEB 化概要(ZEB 化工事中)】

令和3年度 ZEB実証事業

